

クスリ：抗凝固薬

Q6 近いうちに心臓のバイパス手術を予定しています。手術の前には、中止しなければならないクスリがあると聞いていますが、どのような薬剤ですか？

A6 心臓のバイパス手術を予定されている患者さんが多く服用している薬剤として、アスピリンやチクロピジンなどの抗血小板薬、さらにワーファリンなどの抗凝固薬があります。これらの薬剤はいずれも、血液を固まりにくくして、血液をさらさらな状態にし、細くなった血管の中の血液の流れを良好にするクスリです。特にこれらの薬剤は、心臓血管系の病気を中心に、その予後を改善する多くの研究結果があるために、現在多くの患者さんが服用しています。

しかし、これらのクスリは血液を固まりにくくしてさらさらにするがゆえに、逆に手術時に出血が増加する可能性があるため、手術の前には中止する必要があります。反面、これらのクスリを中止することは、血液が固まりやすくなり、血栓ができる危険性もあります。したがって、これらのクスリはできる限り手術の間際まで服用し、手術の後にはできる限り早期に再開する必要があります。血液をさらさらにするクスリはいくつか種類があり、またそれらのクスリの作用するしくみも異なっているため、手術前何日で中止するかには目安がありますので、報告されている日数を表にまとめておきます。

なお、それを中止している期間は血栓ので

表 抗血栓薬と凝固薬の中止期間

商品名	服薬中止期間(日)
バイアスピリン [®] 、バファリン小児用	7~10
パナルジン [®]	10~14
エパデール	7~10
ペルサンチン [®] 、アンギナール [®]	1~2
プレタール [®]	2
プロサイリン [®] 、ドルナー [®]	1
アンプラーグ [®]	1
オバルモン [®] 、プロレナール [®]	1
コメリアン [®]	1
ワーファリン	3~5

きる危険性が増加するために、時には、非常に早く効き目が消える抗凝固薬のヘパリンを点滴で使用する場合があります。しかしこれは入院して点滴を行う必要がありますので、その負担を考えて危険性が高い場合に行うことが多いようです。

以前は、抜歯や眼科の手術などでもこれらのクスリは中止することが多かったのですが、最近では、血栓のできる危険性が高いことから、抜歯や眼科の手術では中止をしない考え方が主流となっています。しかしながら、これらのクスリを中止するかどうか

の判断は自己判断で行わず、必ず主治医の先生とよく相談をして決定するようにしてくだ

さい。

(中元秀友／埼玉医科大学病院 総合診療内科・医師)

